

群生地再生の看板設置

5月28日、穴水ササユリ会会員10名と吉村光輝穴水町長が参加して越の原ササユリ群生地に「群生地再生」の取り組みを知ってもらうための看板2枚、ササユリ保存のための協力をお願いする看板2枚など合計7枚の看板を設置しました。

この日は、ササユリはまだつぼみの状態でした。ササユリは早ければ5月末から6月初めに咲きますが、越の原のササユリは例年6月20日前後が見ごろになります。

6月3日に1～2個の開花が確認できていましたが、6月4日に再度確認したところ6個くらいの花が咲いており、つぼみも10数個ありました。近い将来、群生とまではいかなくても山全体がササユリの花の匂いに包まれる日が来るのが期待されます。



看板制作は朝日新聞前所ヤナギ工務社
費用は会費会費・寄付金でまかなった。



看板を設置する吉村町長（左）
穴水町越の原

穴水ササユリ会は28日、穴水町越の原で群生地の再生に取り組んでいることをPRする看板7枚を設置した。メンバー10人と吉村光輝町長が作業に当たり、「町の花」のササユリが咲き誇る姿が受け継がれることを願った。

群生地は6年前にイノシシ被害でほぼ全滅したが、電気柵の整備などで500株以上に回復した。6月に開花する見込み。

ササユリの看板設置

穴水の群生地



写真は6月4日夕方に撮影したものです。残念ですが咲いたと思われる花の部分だけしか写っているものがありません。

5月28日 当日の活動の様子



☆穴水町花のササユリを守る 町有志による保全団体「穴水ササユリ会」が28日、同町越の原の群生地に見込み。看板を設置した。写真。取り組みをPRする物や

ノトピック
能登



電気柵への注意を促す物など計7枚。メンバー10人と吉村光輝町長が参加した。群生地は6年前はイノシシによりほぼ全滅状態だったが、電気柵整備などの取り組みが実を結び、現在は約500株まで回復。今年は6月中旬に開花を迎える見込み。

5月30日 北陸新聞

種は会員のボランティアで行われたいです。



当日の参加者名

道本	巖夫会長
池上	悟
勝井	寛
幸崎	久史
滝井	元之
滝川	敏明
谷川	毅(輪島)
中前	和人
宮本	浩司
吉岡	幸太郎

(敬称略)

ちょっと気になることば...

6月4日、ササユリの開花の確認のため越の原の山に居たところ、車が

1台やってきて、2-3人の人がおいてきて、声をかけることもなくよく引き上げてきた。開花を見に来ただけならいいのですが...。(笑)